

平成 27 年 4 月 23 日 00218 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【武道館情報】

窓ガラス越しのけいこ風景 ～2階北側通路(強化ガラス越しに)～



第 3 回目は、北見市武道館の北側（東稜公園自由の広場側）に設けられた、道場 2（剣道の稽古風景）を二階北側通路より紹介します。二階の通路は道場 3 を正面に左右(北南)に分かれ設けられています。通路幅は約 170 cm で、消防法上は避難通路に位置付けられています。幅 70 cm の車椅子が交差できるように広めに作られているため、二階

から観覧もできるように大きな強化ガラスが備えつけられています。枠組みも頑丈な鉄製で作られていて安全です。大会に応援に来られる方や座布団を用意して、通路に家族で座って練習を観覧している姿が微笑ましく感じられます。

【柔道情報】マルちゃん大会開催で北見市武道館を練習会場に！

4 月 21 日北見市武道館に東洋水産グループの東和エステート株式会社代表取締役専務の大北正裕氏と同社管理部部長の今堀浩之氏が北見市武道館を視察に訪れました。平成 28 年に予定されている「マルちゃん」でおなじみの東洋水産と、北海道柔道連盟が主催する第 30 回マルちゃん杯少年柔道大会が北見市の道立北見体育センターを会場に開催される予定となっており、そのための事前調査で、北見市武道館もサブ会場として使用したいとの意向が示されました。



連載 「武道宝鑑」第 2 弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

○修行の原則 1

二、指導上に心得べきこと

先ず投げ技と固め技との関係からいうと、これはその何れが価値が大で、何れが小だと断定し得るものではない。見方によっては価値を論ずる事も出来るが、現今の柔道に於いてはその価値を論ずるよりも如何にしてその双方を完全に修得せしめるかという事を考えねばならぬ。即ち立っても寝ても強い人になくってはならぬ。そのためには、投げ技に於いてまずその基礎を作らせる事である。投げ技が相当出来た後、寝技を修行すると双方とも上手になれるが、始めから寝技をやらせた後に投げ技をやらせると、どうも双方上手になることが難しい。勿論これも程度の問題で、寝技を修行させて後に投げ技をやらせ手も相当にはなるが、少なくともその双方共に上手だと思いはしめる程度になることは、実験上困難なことに属する。そこで原則としては、投技から固技寝技に入るといふことにしなければならない。この点は、修行者にもよく理解徹底せしめてその修行をして誤らしめないように指導すべきである。

つづく